

<問い合わせ状況 2025 年 1 月>



院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5 ～10 件程度の問い合わせに対応しています。1 月の疑義照会は 11 件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認（4 件）
- 1 包化希望
- 日数調整
- その他（5 件）
 - ・処方箋期限切れ
 - ・他院との処方重複 …など

薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。
1 月はご質問がありませんでした。



薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してある DI 室への問い合わせは、1 月は 7 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります）。

◎がついたものについては回答を DI ニュース No. 465 に記載しています。

◎レベチラセタムの 1 日量が 3,000mg/日までとなった理由は？

●レベチラセタムをオーバードーズした際の指標などあるか？ → 添付文書へ「過量投与」の項参照のこと

◎ゼルヤンツ[®]服用患者がインフルエンザを発症した。ゼルヤンツ[®]の服用はどうすべきか？

◎パキロビッド[®]パックは簡易懸濁可能か？

●イベニティ[®]皮下注を 1 回飛ばしていた。12 回（投与期間 13 ヶ月）投与は可能か？

→12 ヶ月以上投与したデータは無い。保険については県によるので不明。

●メプチン[®]エアアの吸入口を外して使用した場合に使用期間に影響があるか？ → ない

◎当院採用のゾルミトリプタンは半錠不可と出てくるが、他院でスマトリプタンを半錠にしているのをみたことがある。同じトリプタン製剤でも違うのか？

